

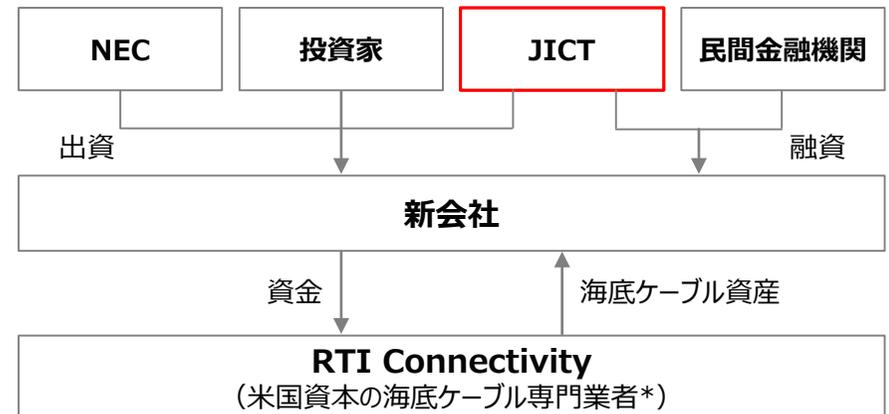
# 日本・グアム・豪州間光海底ケーブル事業への支援の概要

- 株式会社海外通信・放送・郵便事業支援機構（JICT）は、日本電気株式会社（NEC）とともに日本・グアム・豪州を接続する光海底ケーブル事業に参画し、総事業費183百万米ドルのうち最大44.5百万米ドルの出融資を実施。**
- 本事業は、我が国の事業者の光伝送技術や光海底ケーブルの敷設経験を活用し、日本・グアム・豪州間に総延長約9,500キロメートル、設計伝送容量最大毎秒36テラビットの光海底ケーブルの敷設・運営を行うもの。**
- アジア・太平洋地域では、経済成長に伴うインターネット利用の進展により通信量が年率数十パーセントのペースで増加すると見込まれており、大量のデータを高速に伝送可能な光海底ケーブルの需要が増大する見込み。本事業をJICTが支援することによって、増大する通信需要に対処するとともに、我が国の優れた技術や経験を活用した「質の高いインフラ」の海外展開を促進。**
- 従来の太平洋を横断するルートに加えて、我が国を起点とする太平洋を縦断するルートを整備することで、災害等のリスクを軽減し、強靱なICTインフラを構築するとともに、国際通信の分野における我が国の立場を強化。**

## 【事業イメージ】



## 【事業スキーム】



\* RTIグループは、米国連邦通信委員会（FCC）の許可を得て米国内に光海底ケーブルの陸揚局を設置するなど、光海底ケーブル事業について豊富な実績を有している。